学校番号	1007

令和８年度　国語科

教科	国語科	科目	文学国語	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「文学国語」　（東京書籍）						
副教材等	「プレミアムカラー国語便覧」（数研出版） 「テスト式　国語常識の総演習」（京都書房）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

「思考力，判断力，表現力等」の感性・情緒の側面の力を育成する科目として，深く共感したり豊かに想像したりして、書いたり読んだりする資質・能力の育成を重視します。
文学作品を読むことを楽しみ、感じたことを文章で表現する力をつけましょう。
授業以外でも読書をすることを勧めます。また、読み書きできる漢字や語彙を増やすことを意識して授業に取り組みましょう。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を深めることと、文学的な文章における文体の特徴や修辞などの表現の技法について、体系的に理解し使うことを目標とする。
【思考力・判断力・表現力等】
文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えることと、語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈することを目標とする。
【学びに向かう力、人間性等】
言葉によって自分の考えを形成したり新しい考えを生み出したりすること、言葉から様々なことを感じたり、感じたことを言葉にしたりすることで心を豊かにすること、言葉を通じて他者や社会と関わり自他の存在について理解を深めることを目標とする。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度

観点の趣旨	生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使っている。	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通じて積極的に他者と関わったり、思いや考えを深めたりしながら、言葉のもつ価値への認識を深めようとしているとともに、言語感覚を磨き、言葉を効果的に使おうとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
	筆者のものの見方や感じ方を読み取り、言葉と感覚との関係について考える。 ［教材］ 光の窓	a：情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 b[読]：随筆という文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。 c：筆者のものの見方や考え方をとらえ、想像することや共感することを通して、自分の生き方について考えを深めようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 ワークシート	ノート ワークシート
	場面や登場人物の設定における特徴を捉え、作中の「短編小説」が象徴するものについて考える。 ［教材］ 窓	a：文学的な文章における文体の特徴や修辞などの表現の技法について体系的に理解し使っている。 b[読]：文章の構成や展開、表現の仕方を踏まえ、解釈の多様性について考察している。 c：作品の構成や表現に興味をもち、寓意的な意味を捉え、解釈を深めようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 ワークシート	ノート ワークシート
	戦争の中に生きる登場人物の生き方や考え方を捉え、人間の生と死について考えを深める。 ［教材］ 沖縄の手記から	a：人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。 b[読]：作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉えるとともに、作品が成立した背景を踏まえ、作品の解釈を深めている。 c：筆者のものの見方や考え方をとらえ、想像することや共感することを通して、自分の生き方について考えを深めようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 ワークシート	ノート ワークシート
	登場人物の心情を理解しつつ、現代社会に生きる私たちが抱える問題について考える。 ［教材］ 山椒魚	a：言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 b[読]：文章の構成や展開、表現の仕方を踏まえ、解釈の多様性について考察している。	定期考査 小テスト	定期考査 ワークシート	ノート ワークシート

		c:描写の特徴や象徴的な表現に注目し、登場人物の心情や境遇をふまえて、作品を読み味わおうとしている。			
	寓意に注意しながら小説を読み、「現代」という時代について考えを深める。 ［教材］ 鞄	a:文学的な文章における文体の特徴や修辞などの表現の技法について、体系的に理解し使っている。 b[書]:読み手の関心が得られるよう、文章の構成や展開を工夫している。 c:作品の構成や表現に興味をもち、寓意的な意味を捉えようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 ワークシート	ノート ワークシート
	人物の関係性と心情を的確に捉え、人の心のありようについて考えを深める。 ［教材］ こころ	a:情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 b[読]:文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。 c:登場人物の境遇や、それぞれの人物関係をおさえ、作品の魅力を読み味わおうとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 ワークシート	ノート ワークシート
	場面ごとの設定を押さえて、その転換に伴う登場人物の状況や心情の変化を読み取る。 ［教材］ あの朝	a:情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 b[読]:文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。 c:筆者のものの見方や考え方をとらえ、想像することや共感することを通して、自分の生き方について考えを深めようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 ワークシート	ノート ワークシート
	登場人物の心情御表現に即して把握し、主人公の内面と苦悩について考える。 ［教材］ 山月記	a:文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を深めている。 b[読]:作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めている。 c:文体の特徴や語りの構造に興味をもち、登場人物の心情や境遇を踏まえて、作品を読み味わおうとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 ワークシート	ノート ワークシート

４　学習の活動

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準ｂ[　]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　　）時間

・書くこと　…　（　２０　）時間

・読むこと　…　（　５０　）時間